

1 産業連関表の概略

現代の諸産業は、相互に取引関係を結びながら生産活動を行っており、どのような経済のなかであれ、生産活動を営んでいる産業は、他産業部門から中間生産物（原材料、燃料、電力、水等）及び労働力を購入すると同時に、それらを一定の生産プロセスに投入し、財貨・サービスを産み出している。

こうして生産された財貨・サービスは、最終消費者に対して供給・消費されるが、中間生産物(原材料)として他産業の生産のため消費されたり、また生産設備 や公共財として投資され長期の利用に供されるものもある。産業連関表は、このような産業相互間の経済取引の状況をマトリックス表にしたものであり、これによって、各産業の生産物がどこに向かって流れているかを読みとることができる。

また、産業連関表はそれ自体統計表として用いられる以外に、相互に関係しているマトリックス表を行列計算することにより、経済分析の手法としても広く用いられている。

表1 平成7年徳島県産業連関表における主な数値 (単位:百万円、%)

	平成2年 徳島県	平成7年 徳島県	(参考) 平成7年全国	構成比県/全国	伸び率 平2~平7	摘要
中間投入額(A)	1,966,258	2,153,675	431,854,678	0.50	9.5	
粗付加価値(B)	2,352,761	2,603,462	505,245,953	0.52	10.7	
県(国)内生産額(C) (A)+(B)	4,319,019	4,757,137	937,100,631	0.51	10.0	
総供給(D) (C)-(J)	5,733,801	6,397,309	980,824,278	0.65	11.6	
中間需要(E)	1,966,258	2,153,675	431,854,678	0.50	9.5	
県(国)内最終需要(F)	2,446,586	2,789,388	502,160,539	0.56	14.0	
移輸出(G)	1,320,957	1,454,246	46,809,061	3.11	10.1	全国は輸出
最終需要計(H) (F)+(G)	3,767,543	4,243,634	548,969,600	0.77	12.6	
総需要(I) (E)+(F)+(G)	5,733,801	6,397,309	980,824,278	0.65	11.6	
(控除)移輸入(J)	△ 1,414,782	△ 1,640,172	△ 43,723,647	3.75	15.9	全国は輸入
県(国)内生産額(C)' (I)+(J)	4,319,019	4,757,137	937,100,631	0.51	10.1	
中間投入比率 (A)/(C)	45.5	45.3	46.1	-	△ 0.4	
生産波及の大きさ(34部門平均)	1.3367	1.3450	1.8608	-	0.6	全国は32部門
生産誘発係数 (C)/(H)	1.1464	1.1210	1.7070	-	△ 2.2	平均
粗付加価値誘発係数(B)/(H)	0.6245	0.6135	0.9204	-	△ 1.8	平均
移輸入誘発係数 (J)/(H)	0.3755	0.3865	0.0796	-	2.9	平均